

児童生徒名	D	記入者(役割)	〇〇 〇〇(特別支援教育コーディネーター)
これまでの取組 (担任が配慮してきた点や校内委員会での話し合い、全体的な取組など)			
<p>1 小学校からの引継内容… 相手の気持ちを察したり周りの状況に併せて行動したりすることが苦手である。</p> <p>この情報をもとに、学年会を中心に話し合いを持ち、以下の取組を確認。具体的に対応していく。</p> <p>(1) 担任を中心とした学年体制</p> <p>① 日常場面での生徒の実態を把握するとともに、生徒理解に努める。</p> <p>② 保護者と面談をする。</p> <p>③ 生徒に直接支援する内容や方法を検討する。</p> <p>(2) 教科担当を中心とした学習指導</p> <p>① 教科学習時の生徒の実態を把握するとともに、生徒理解に努める。</p> <p>② 学級担任と教科担任の情報を交換する。</p> <p>③ 教科での少人数指導を取り入れる。</p> <p>④ 学年会・職員会議で情報交換をする。</p> <p>(3) 相談室での個別学習課題による学習</p>			
<p>2 関係機関と連携(他機関の欄参照)をとる。 具体的な個別支援を行うための手立てを講じていく。</p>			
<p>長期目標 (平成〇年度 〇月～) (一年間の目標。具体的で達成可能な目標を設定。行動で評価できる目標を設定する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日、登校できる。 ・1日、学校で過ごすことができる。 			
<p>短期目標 (平成〇年度 〇月～) (長期目標を達成するために前期・後期の目標を設定)</p>			
前期の目標	具体的な手立て・校内支援体制		評価
1 遅刻をせずに登校する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8 : 10 校門で声かけをする。 ・ 昇降口で担任、学年職員が迎える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 遅刻はあったが以前と比べて登校する日数が増えた。
2 朝読書、朝の会は教室で過ごす。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担任による生徒観察及び直接支援、声かけをする。 ・ コーディネーターや教頭と協力して対応する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝読書と朝の会は教室で過ごすことが増えた。
3 相談室で自分なりに過ごす。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習課題の提供 … 担任、学年職員等による支援 得意とする漢字学習を中心に学習する。 ・ 大人との対話を多くする… 担任、スクールカウンセラー、特別支援教育コーディネーター 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字の学習については意欲的に取り組み、課題が終了すると次の課題を要求する様子が見られるようになった。
<p>○今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教室で過ごせる時間を増やしていき、授業にも参加できるようにする。 			
<p>○保護者との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校での様子を伝える … 担任、特別支援教育コーディネーター ・ 個別の面談 … 管理職、担任、特別支援教育コーディネーター 			
<p>○他機関 (発達障害者支援センター、教育センター、医療機関、児童相談所、放課後ルーム、民間教育機関) 利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 〇〇市教育センター内 特別支援教育担当による教育相談 ・ 発達障害者支援センター訪問 (平成〇年〇月〇日 本人 保護者相談) ・ 〇〇市専門家チーム会議による助言 ・ 県総合教育センター特別支援教育部 (平成〇年〇月〇日 本人 保護者相談) 			